

小路正和県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411



●自動車盗の件数と検挙
 小路議員 千葉県における自動車盗の発生件数は、全国的に高水準で推移していると聞く。

本県における自動車盗の認知及び検挙件数はどうか。警察本部長 令和4年中における自動車盗の認知件数は627件で、令和3年

と比較して132件減少した一方、検挙件数は213件で、43件増加しました。本年は、5月末現在で、認知件数は279件で、前年同期と比較して39件減少し、検挙件数は17件で、46件減少しております。

●自動車盗検挙への取組
 小路議員 自動車盗検挙のため、どう取り組むのか。警察本部長 最近の自動車盗は、車を盗む実行役、ヤード等へ搬送する役、解体する役など細かく役割分担され、窃取から処分まで組織的に取行される事例が見られます。

また、犯行手段も、特殊な器具で電子的に解錠し、翌日には解体して数日のうちに県外の港から海外に輸出される例も確認されるなど、ハイテク化、スピード化、広域化しています。

こうした状況を踏まえ、他県警察とも連携して合同捜査を推進しているほか、税関などの関係機関とも情報共有を図るなど、検挙対策

を強化しており、被害防止との両面から自動車盗対策を推進してまいります。

●要望 私の地元いすみ市内では昨年6件発生し、本年5月末で既に5件なので、このペースだと昨年を上回ってしまう。千葉県の自動車盗の発生件数が全国的に高水準で推移していることから、更なる被害を防止するために、引き続き、検挙対策の強化を要望する。

さらに、市町村が是正指導する場合には、指導の方法や行政処分手続きに関する助言などを行っています。

●要望 自動車盗難も非常にやりにくく巧妙になっている。県の部局も市町村への支援をお願いしたいが、是非、

装置の小型化に課題があり、技術革新が必要で、県としては、動向を見据えながら、余剰電力の効果的な活用方法について検討を深めてまいります。

●要望 地域における余剰電力を活用した災害時の取組が促進されるよう、地元関係者等と連携し、しっかりと検討していただきたい。また、漁業者の理解を促すため、県にも協力いただき、地元漁協による勉強会が行われているが、今後も、地区ごとに勉強会を行うなど、引き続き丁寧に対応していただきたい。



6月県議会一般質問に登壇した小路県議

いすみ市沖の洋上風力発電 余剰電力を地域活用

●洋上風力発電の余剰電力
 小路議員 私の地元いすみ市沖で、洋上風力発電導入に向けた検討が進められている。地元の期待は大きく、私はこのプロジェクトを、地元発展のため余す所なく活用して行きたい。

その一つとして、洋上風力発電で生じる余剰電力を

●悪質な残土埋立
 小路議員 本県は、東京都など建設残土の発生地に近く、谷津の多い地形や道路網の整備もあって残土の埋立が多く、中には崩落の

危険性があるものもある。近年、許可を要しない面積未達の埋立を主張し、複数箇所埋立を行って結果的に無許可で大量の埋立を行う悪質業者が現れている。

このような悪質案件に対し、県はどのように市町村を支援しているのか。環境生活部長 県では、当該市町村に対し、まず、行為者や現地の実態を把握し、事業者の同一性、埋立て時期などから埋立の一体性を検討するよう助言しています。

さらに、市町村が是正指導する場合には、指導の方法や行政処分手続きに関する助言などを行っています。

●要望 だが、残土の問題も非常にやりにくく巧妙になっている。県の部局も市町村への支援をお願いしたいが、是非、

県警も威信をかけて取り組んでほしい。

●キヨンの捕獲強化と活用
 小路議員 特定外来生物キヨンの推定生息数は、令和3年度に県内で約6万7千頭と大きく増加し、生息域の拡大も心配される。キヨンの捕獲強化に向けた取り組みと、捕獲したキヨンの活用はどうか。環境生活部長 令和3年度は県全体で約8,600頭を捕獲したものの生息数の減少には至らず、対応強化が必要と認識しています。このため今年度は、新たな捕獲方法開発の実証や、安全性の高い箱フナによる捕獲実証も行う予定です。また、鳥獣の命を無駄にしないため、ふるさと納税返礼品や観光イベント等で、キヨンを活用した製品を紹介する予定です。

6月県議会 一般質問

いすみ市を始め外房の活性化に情熱を注ぐ、小路正和県議(勝浦市いすみ市・夷隅郡選出)は、3期目を迎えて農林水産常任委員会委員長に就任するとともに、地元の課題解決のため6月県議会一般質問に登壇。医療問題、教育問題や、洋上風力発電、自動車盗、など様々な課題を質した。その概要を報告する。

千葉県。男女共同参画条例

議会と議論重ねよ

●男女共同参画社会の実現
 小路議員 先の2月議会で、男女共同参画に留まらず多様性が尊重され、誰もが活躍できる社会の実現を促すため、新たな条例制定

の方針が知事から示された。本県は、男女共同参画条例のない唯一の県だが、男女共同参画社会の実現に向け、どう取り組むのか。知事 少子高齢化やデジタル化の進展など、社会経済情勢の急速な変化に対応

する際には、性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できる、男女共同参画社会の実現が重要で、そのため県では、これまで5次にわたる男女共同参画計画に基づき、女性登用の拡大や子育て支援に取り組み、好事例の周知、県民や企業を対象とした講演会の開催など、様々な施策を推進してきたところです。

今後、様々な主体と連携して、男女共同参画の意識醸成を図るとともに、女性人材の育成・登用に関する研修会を開催するなど、女性が活躍できる環境づくりを進めてまいります。

●要望 寛容な社会を築くり上げるために、議会と丁寧な議論を重ね、条例や施策の検討を進めて

いすみ市を始め外房の活性化に情熱を注ぐ、小路正和県議(勝浦市いすみ市・夷隅郡選出)は、3期目を迎えて農林水産常任委員会委員長に就任するとともに、地元の課題解決のため6月県議会一般質問に登壇。医療問題、教育問題や、洋上風力発電、自動車盗、など様々な課題を質した。その概要を報告する。

医療提供体制強化を



自席から再質問、要望する小路県議

コロナワクチン謝罪かめよ

「超過死亡」の原因

●**コロナワクチンと超過死亡**
小路議員 予測される死亡者数より実際が多い「超過死亡」の原因が新型コロナウイルスワクチン接種であるという説について、国や県はどう考えるか。
保健医療担当部長 国の研究班が解析した結果及び米国における観察研究の結果において、ワクチン接種

による死亡リスクの有意な上昇は認められなかったとされています。
また、ワクチン接種のピークと新型コロナウイルス感染症発生、死亡のピークが近くなることは、感染拡大時期にワクチン接種を励行したことも説明できます。
これらにより、超過死亡の原因が新型コロナウイルスワクチン接種であるとは言い難い

いと考えており、国でも同様の認識と承知しております。

●**要望**
県では超過死亡とワクチンに関する分析等を継続するよう国に要望している、と聞いている。

国には、研究を続けしっかりと調べてほしいと思うので、県は、適宜、進捗状況を確認するなど、国の動向を注視するよう要望する。

●**医療提供体制強化への取組**
小路議員 今回のコロナの感染拡大により本県の医療提供体制への負荷が高まり、県政世論調査でも「安心して受診できる体制になる」と回答した割合が、最大地域で41%あった。

県民が安心して暮らせるよう、医療提供体制の強化にどう取り組んでいくのか。
保健医療担当部長 県で

不登校児童生徒への支援 民間の支援必要

●**不登校児童生徒への支援**
小路議員
国の調査では、令和3年度の全国小中学校の不登校児童生徒が約24万人で、このうち、専門機関で相談指導等を受けていない者が約8万人に上り、学校以外でも適切な学習

活動支援が必要な状況だ。フリースクールや、独自の理念・教育方針で学習するオルタナティブスクール等の活用が考えられるが、連携をどう推進するのか。
教育長 不登校児童生徒の支援に当たっては、学校とフリースクールやオルタナティブスクールが連携し、協力することが重要で、そのため県教育委員会では、フリースクール等の民間団体と定期的に情報交換を

重ね、児童生徒や保護者が個別に相談できるセミナーを開催しています。
また、不登校児童生徒の教育機会確保を支援する基本方針策定に当たり、フリースクール等からも意見を求める予定で、今後、支援の充実にも努めてまいります。

●**要望**
フリースクールやオルタナティブスクールとの連携は大切であると考えられるため、引き続き取り組んでいただきたい。
保健医療担当部長 県では、保健医療計画に基づき、二次保健医療圏ごとに医療資源等の状況を把握し、関係者と協議しながら医療機関の役割分担の促進、在宅医療の推進、医療従事者確保等に取り組んでおります。また、限られた医療資源を効率的に活用するため、広域連携の促進にも取り組んでおり、今後とも、医療提供体制の構築に取り組んでまいります。

は、保健医療計画に基づき、5疾病及び救急医療など4事業について、急性期から切れ目ない医療提供体制構築に向けた医療機関の役割分担や相互の連携推進に取り組んでおります。
救急医療については、休日・夜間等の救急患者を受け入れる病院群輪番制の強

化を図っているほか、重症の患者を受け入れる救命救急センターや、全県対応の高度救命救急センターの整備を進めています。
また、今般の計画改定で

は、「新興感染症発生・まん延時における医療」等に関する対策を新たに盛り込む予定で、今後とも、県民が地域で安心して生活できるように、医療提供体制の強化

●**要望**
一部における医療提供体制の弱さが明らかになったのではないかと考えられる。対策を講じるよう要望する。

東金九十九里有料道路 料金所改善急げ 道路予算しつかり確保

●**料金収納方法の改善**
小路議員 東金九十九里有料道路の料金所は、障害のある方が利用し易いよう改善すべきと思うがどうか。
県土整備部長 当該道路の無人料金所は、補助が必要な場合、管理事務所まで二ター監視している職員が対応しています。
障害のある方に対する通行料金割引は、これまで、

事前登録車両のみ割引していましたが、本年3月27日からは、事前登録なしでも割引対象に拡大されました。また、利便性向上のため、優先レーンを設定するなど、優先レーンを進めてまいります。

●**要望**
障害のある方も安心して使える料金所のお優先レーン設定の検討をお願いします。将来的にはETCやSuica活用を要

望する。
●**夷隅地域の自転車道整備**
小路議員 夷隅地域における県道九十九里二宮大原自転車道の整備が必要と思うがどうか。
県土整備部長 当該路線は、九十九里町からいすみ市を結ぶ約33kmの自転車道で、太平洋岸自転車道の一部を構成する路線です。

●**要望**
このうち夷隅地域では、いすみ市岬町江場土く深堀間が、自転車専用道として整備されていますが、その他の区間は国道128号を利用することとして、標示等の設置を進めてきました。

●**要望**
一宮町・釣ヶ崎海岸は、国道を使ったサイクリングロードであるため、自転車専用道を整備して、太平洋沿岸のサイクリングロードにしたいです。

●**道路整備予算の確保**
小路議員 道路整備を進めるため、更なる予算確保

●**要望**
国に要望していただきたい。

●**要望**
予算はしっかりと国に要望していただきたい。

●**キャンパ場等のPR**
小路議員 県内のキャンパ場やグランピング施設の活性化のため、県として積極的にPRする必要があり、と考えるが、どうか。
知事 都心から近く、温暖で豊かな自然に恵まれた本県は、キャンパ場に加え、グランピング施設が数多く設置されるなど、県の観光の特色になりつつあります。こうした動きを受け、観光パンフレットやホームページで紹介しているほか、外国人観光客向けSNSでも発信するなど、新たな利用者層の確保にも努めています。

●**要望**
私の地元いすみ市では、キャンパ場やグランピング施設のほか民泊農泊も増えているが、小規模なものも多く、十分なPRができないという声を聞く。県として、こうしたスタイルの宿泊施設も積極的にPRし、県内外から多くの方が利用できるよう取り組むことを要望する。

●**要望**
新たな観光施設が積極的にPRを

●いすみ市と県政に関するご意見をお寄せください

小路正和 県議事務所
〒298-0004 千葉県いすみ市大原8654
TEL・FAX 0470-62-5802